

公益社団法人 日本小児科医会 会長 松平 隆光

厚生労働科学研究

HTLV-1 母子感染予防に関する研究エビデンス創出のための研究」

研究分担者 時田章史（公衆衛生委員会委員）

研究協力者 峯 真人（日本小児科医会理事）

稲光 毅（日本小児科医会理事）

河村一郎（乳幼児学校保健委員会委員）

ヒトT細胞白血病ウイルス - 1 型・HTLV-1 は主に母乳を介して母児感染が起こることが知られています。感染した児はキャリア化し、成人後にT細胞白血病(ATL)やHTLV-1 関連脊髄炎(HAM)などの重篤な疾患を発症することがあり、母子感染を予防することが最も基本的な対策であると考えられています。平成 23 年度から板橋家頭夫・昭和大学医学部小児科教授を研究代表者とする厚生労働科学研究として、「HTLV-1 母子感染予防に関する研究」が開始され、平成 26 年度からは日本小児科医会も研究班に加わり、啓発に努めてまいりました。今回、啓発活動の一環として、「HTLV-1 母子感染を防ぐために」ポケット版を日本産婦人科医会と共同で作成致しましたので、会員の皆様にお届け致します。また、この 3 年間の啓発活動に対してのご評価も賜りたく、この冊子のご感想も含め、本アンケート調査に対しご協力いただきますようお願い申し上げます。

HTLV-1 母子感染に関する日本小児科医会会員へのアンケート

【問 1】住居地 () 都・道・府・県

【問 2】就業形態 ・開業医 ・勤務医（施設内分娩取扱 あり・なし）

【問 3】年齢 ・20 代 ・30 代 ・40 代 ・50 代 ・60 代 ・70 歳～

【問 4】母子健康手帳の HTLV-1 抗体、風疹抗体検査結果を確認したことが

・ある ・ない ・風疹のみある

【問 5】HTLV-1 母子感染についての知識が ・ある ・ない ・少しある

【問 6】HTLV-1 母子感染についての相談経験が ・ある（・5 件以上・5 件未満） ・ない

【問 7】HTLV-1 母子感染例において、児の抗体検査の経験が

・ある（・5 件以上・5 件未満） ・ない 【11】へ

【問 8】貴地域での HTLV-1 母子感染対策協議会の存在を ・知っている ・知らない

【問 9】昨年日本小児科医会から配布した HTLV-1 母子感染対策に関する冊子の存在をご存知

ですか ・ある（読んだ、読んだことはない） ・ない

【問10】今回配布致しましたポケット版は参考になりましたか・

・参考になった ・参考にならなかった

【問 11】今後 3 歳児の HTLV-1 抗体検査をキャリアの母親が希望された場合

・実施する ・実施しない（・紹介先がある ・紹介先はない）

ご協力ありがとうございました。